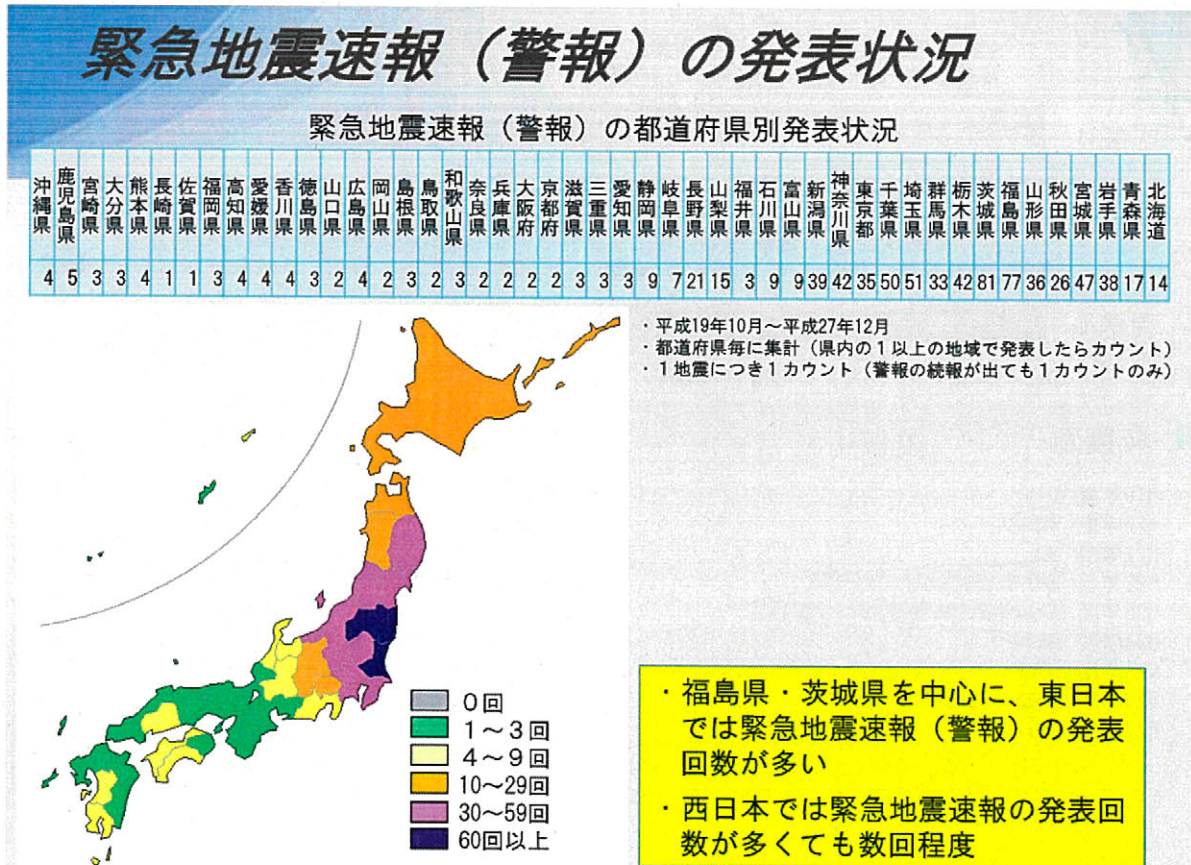
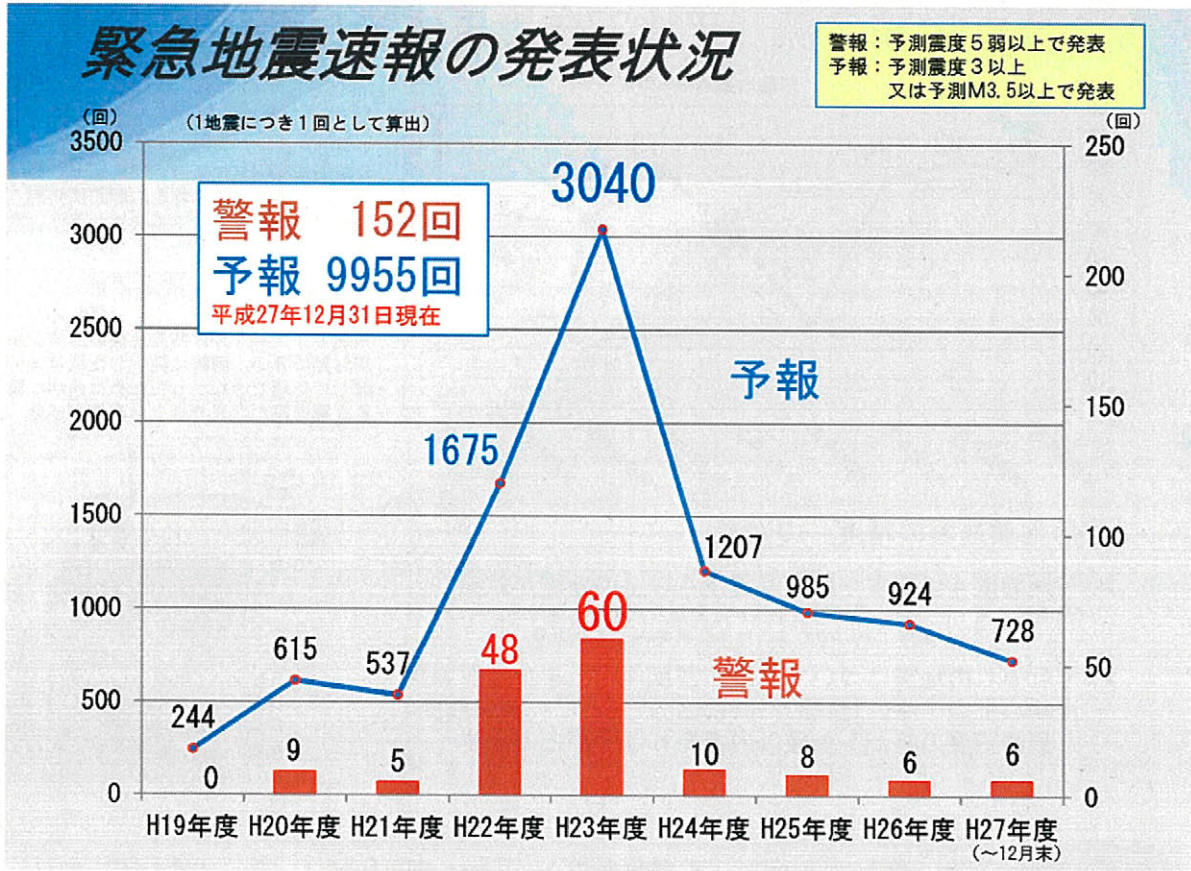


緊急地震速報の発表状況

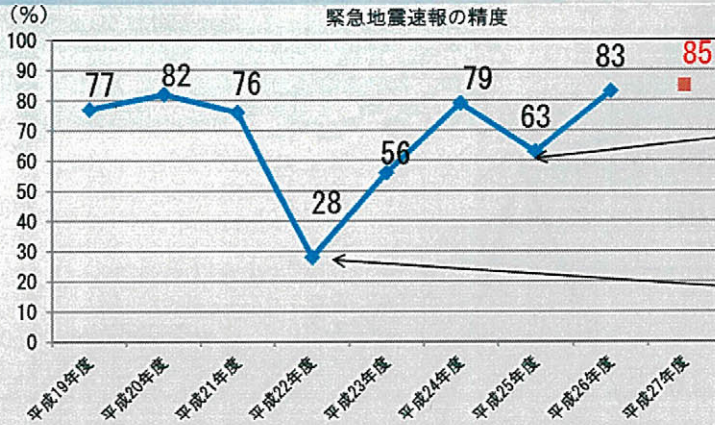
気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室

福満 修一郎



緊急地震速報の精度

・ 気象庁業務目標「平成27年度末までに85%以上」



平成25年8月8日に東南海海底地震計の障害に伴い過大な警報を広範囲に発表した事例のため、的中率を押し下げ

東北地方太平洋沖地震発生後の活発な余震活動に伴い、同時に発生した地震を分離して処理できなかったために適切に緊急地震速報が発表できない事例が多発

「緊急地震速報の精度」の定義

- ▶ 予測震度4以上または観測震度4以上の地震が対象
(予測震度・・・緊急地震速報(警報)を発表した場合は警報発表時の予測震度。その他の場合は予報最終報の予測震度)
- ▶ それぞれの地震について、予測震度4以上または観測震度4以上の予報区(全国を188に区分)ごとに、予測震度と観測震度の差が1階級以内であれば的中とみなす

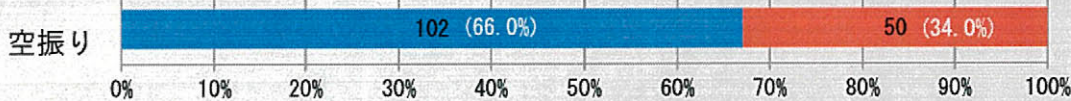
観測震度 \ 予測震度	0(なし)	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7
0(なし)										
1		評価								
2			対象外							
3										
4										
5弱										
5強										
6弱										
6強										
7										

緊急地震速報(警報)の見逃し・空振り

対象期間：H19年10月1日09時～H27年12月31日

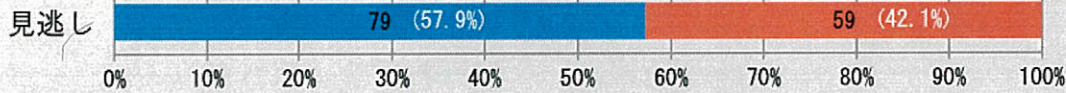
緊急地震速報(警報)を発表し
実際に震度4以上を観測した地震

緊急地震速報(警報)を発表したが
実際の震度は4未満だった地震



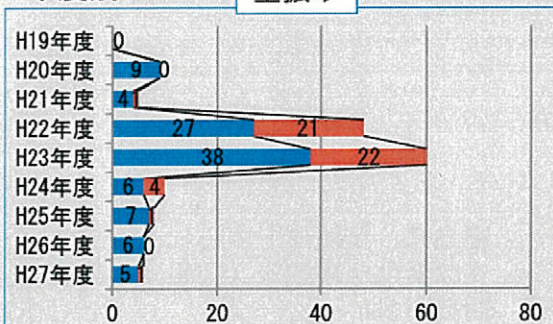
震度5弱以上を観測し
緊急地震速報(警報)を発表した地震

震度5弱以上を観測したが
緊急地震速報(警報)を発表しなかった地震



年度別

空振り



見逃し

